

安岡 明雄

市民の声

公共施設の保全に関する管理計画の策定

**質** 市は「今後、財源不足が見込まれる一方、支出の増大も見込まれる」と説明しており、「あれもこれも」から「あれかこれか」選択する時期に入った。計画策定を急ぐべきだ。

**答** 施設の維持更新等の負担や利用者の動向を踏まえ、既存施設の機能集約や廃止・縮小等、公共施設の再編も必要と考えており、施設の維持補修等を総合的にマネジメントする必要があると認識している。また、国においてインフラ長寿命化基本計画が決定されたことから、今後、国の動きに沿って具体的に検討したい。

首長は大災害の時、どのように行動すべきか

**質** 伊豆大島の例でもわかるが、首長が電話で指示するのは限界で、相馬市長は「陣頭指揮は、本部でとらないとだめ」と言っている。本市はそういう体制になっているのか。

**答** 災害発生時には、市長が災害対策本部長として指揮をとるが、各部署に権限を与え、その報告をもとに本部長として大局的に判断し対応していく。また、地域防災計画や各マニュアルでは職務代行や勤務時間外における災害対策本部の運営等を詳細に定めており、適切な災害対応が行えると考えている。

その他の質問事項

- 公金の適正管理とチェック体制
- 専門的知見でのチェックが必要
- 健康づくりのための庁舎を全館禁煙に

菊地 時子

日本共産党

住宅リフォーム緊急支援事業

**質** 県内でも経済波及効果が大きいことからリフォーム助成が広がっている。過去の利用者でも工事内容が異なる場合、限度額を超えない範囲で対象とすることはできないか。

**答** 平成22年度に事業を実施してから、25年の11月未までに3252件の補助金を交付しているが、まだ同補助金を利用していない住宅も数多くあると考えている。市では多くの市民にこの補助金を公平に活用していただきたいと考えており、同一建物への補助金は1回と定めている。今後も現行制度のとおり実施したい。

学校給食費の無償化

**質** 子育て世代に経済的負担が重くのしかかっている。子供たちにとっては、食育としての給食でもある。子供たちに負担に対する不安を抱かせないよう無償化に向けた取り組みを。

**答** 給食費の無償化に向けた取り組みについては、今後、厳しい財政状況が見込まれることから、給食費の無償化は困難と考えている。

その他の質問事項

- 市税の滞納者対策

渡辺 優子

公明党

軽・中度難聴者の補聴器購入に助成を

**質** 高齢者の難聴は「認知症」などとの関連もあり、災害時には情報伝達のおくれにより二次災害に巻き込まれる事例もあることから、軽・中度難聴者への補聴器購入を助成すべき。

**答** 補聴器購入費の助成については、市として高齢者の社会参加の機会拡大や健康増進による介護予防等、広く高齢者全般を支援するような事業を実施していきたいと考えていることから、今後の検討課題にしたい。

文化会館の駐車場整備

**質** 市文化会館の駐車場は、絶対数が不足している。立体駐車場を増設を図るべき。また、臨時駐車場には木の根が張り出したり、水たまりができたりしているため、整備すべき。

**答** 立体駐車場の整備は、財政的に困難と考えている。また、臨時駐車場を常設の駐車場として整備するには、進入路の確保や十分な安全対策を講ずる必要があることから、今後、どのような整備方法が可能か検討したい。なお、臨時駐車場については、転圧などによる整備や照明等の設置も検討したい。

その他の質問事項

- 雑誌スポンサー制度の導入